

第36回マルちゃん杯九州少年柔道大会 実施要項

- 1 目的 柔道の正しい技術を身に付け、競技力の向上を図ると共に、明るく、正しく、そして、逞しい少年の健全育成を目的とする。
- 2 主催 佐賀県柔道協会 東洋水産株式会社
- 3 主管 佐賀県柔道協会
- 4 後援 (公財) 全日本柔道連盟 九州柔道協会 佐賀県教育委員会
(公財) 佐賀県スポーツ協会 佐賀市教育委員会 (公財) 佐賀市体育協会
佐賀新聞社 西日本新聞社 読売新聞西部本社 サガテレビ RKB毎日放送
九州朝日放送 テレビ西日本 福岡放送 TVQ九州放送
ベースボールマガジン社「近代柔道」 (株)スーパーモリナガ
- 5 日時 令和3年6月13日(日) 開会式8:30 / 終了16:00(予定)
- 6 会場 SAGAサンライズパーク総合体育館 大競技場(旧称佐賀県総合体育館)
(佐賀市日の出1-21-15 Tel0952-32-2131)
- 7 大会日程

小学生の部	監督・コーチ・選手入場	7:30~
小学生の部	審判監督会議	7:50~
小学生の部	観戦者入場	8:00~
小学生の部	開会式(開会式後試合開始)	8:30~
	表彰(小学生の部試合終了後)	
中学生男子・女子の部	監督・コーチ・選手入場	10:00~
中学生男子・女子の部	審判監督会議	11:30~
中学生男子・女子の部	観戦者入場	11:45~
中学生男子・女子の部	試合開始	12:00~(予定)
中学生男子	試合終了 閉会式	15:30~(予定)
- 8 参加資格
 - (1) 出場するチームは、今年度の全日本柔道連盟登録を完了している団体(学校・柔道場・クラブ・スポーツ少年団等)であり、チーム編成は小学生の部、中学生男子の部は監督1名、コーチ1名、選手5名、補欠2名の計9名、中学生女子の部は監督1名、コーチ1名、選手3名、補欠1名の計6名とする。
 - (2) チーム構成は、小学生(3年生以上)・中学生とし、現に各加盟団体の市町村の小・中学校に在学している者とする。なお監督は、選手本人の大会出場意思を確認し、健康に十分な配慮を行い、保護者並びに団体の承認を得ること。参加申込書の承諾欄については保護者印とするが、保護者から委任を受けた選手については監督印でも認めるものとし捺印の上、提出すること。ただし、医師の健康診断書の添付は不要とする。
 - (3) 監督・コーチは全日本柔道連盟登録をしている者とし、複数のチームの監督・コーチを兼任することは認めない。また、監督・コーチの資格として全柔連公認柔道指導者ライセンス(C以上)もしくは、学校顧問特例資格を利用し、今年度の全柔連指導者登録を完了した者とする。また、選手は出場するチームを通して競技者登録を完了していることとする。
 - (4) 出場チームは、所属の指導者が必ず1名監督して引率すること。勝敗にこだわり、

選手を臨時的に他チームより移籍させる等の行為があった場合は、そのチームは失格とし、今後の本大会の出場は認めない。

- (5) 大会前1ヵ月以内に脳震盪を受傷した者は、脳神経外科の診断を受け、出場の許可を得ること。大会中、脳震盪を受傷した者は、継続して当該大会に出場することは不可とする。(なお、至急、専門員(脳神経外科)の精査を受けること)
- (6) 皮膚真菌症(トングランス感染症)については、発症の有無を各所属の責任において必ず確認すること。感染が疑わしい若しくは感染が判明した選手については、迅速に医療機関において適格な治療を行うこと。もし、皮膚真菌症の感染が発覚した場合は大会への出場ができない場合もある。
- (7) 参加申込みの際、選手の氏名・学校名・身長・体重等のプログラム掲載及び大会結果・写真等の新聞・雑誌・ホームページへの掲載についても、保護者からの承諾をえること。ただし、特別な事情がある場合は、大会事務局へ申し出ること。

9 試合種目 団体試合とし、小学生の部、中学生男子の部、中学生女子の部の3部制とする。出場できるチームは各種目において **1所属団体につき1チームを上限**とする。ただし開催県については **2チーム上限**とする。

- 10 チーム編成
- (1) チーム編成
男女の混合のチーム編成は、小学生の部のみとし、中学生は認めない。
 - (2) オーダーの編成
選手のオーダーは段・級自由であるが、事故防止のため体重の重い順に大将から配列するものとし、チーム編成を満たさない場合(欠員)及び怪我等により補欠起用が生じた場合でも、改めて体重の重い順に大将から配列すること。
(例)*チーム編成が4名の場合、大将・副将・中堅・次鋒とする。(体重重い順)
*チーム編成が3名の場合、大将・副将・中堅とする。(体重重い順)
 - (3) 選手変更
ア 選手(補欠を含む)申込書提出後の変更は、原則として認めない。
イ 大会当日並びに大会前までににおいても、プログラムに記載されていない選手の変更は認めない。
ウ 選手の負傷等でやむをえない場合、また当日試合中に負傷し変更する場合は、補欠より補充し、上記に従い編成すること。
エ 負傷等により変更となった選手は、以後の試合に出場できない。
オ 試合当日の選手変更については、大会本部の選手変更係から用紙(複写式)を受け取り、係に提出すること。

11 審判規定

- (1) 国際柔道連盟試合審判規定及び国内における「少年大会特別規定」により行う。
- (2) 試合時間は2分間とする。但し決勝のみ3分間とする。
- (3) 勝敗の決定基準は「一本」「技有り」「僅差」とする。「僅差」とは、双方の選手間に技による評価(技有り)がない、又は同等の場合「指導」差が2以上あった場合に少ない選手を「僅差」による優勢勝ちとする。得点差がなく、かつ「指導」差が1以内の場合は「引き分け」とする。

12 試合方法

- (1) 試合は団体対抗点取り試合とし、トーナメント戦によって実施する。
- (2) 中学生男子の部は準々決勝敗退チームによる5位決定戦を実施する。
- (3) 勝敗の決定は次による。
 - ① 勝ち数の多いチームを勝ちとする。

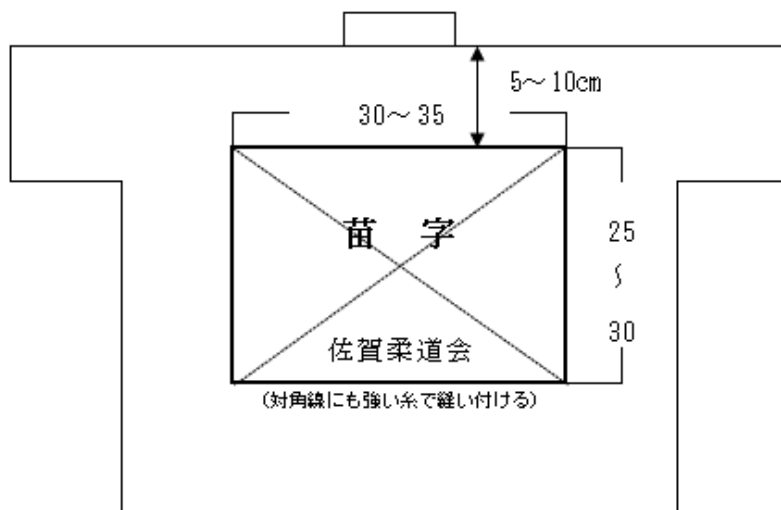
- ② ①で同等の場合は、「一本」（それと同等の勝ちを含む）による勝者数の多いチームを勝ちとする。
 - ③ ②で同等の場合は、「技有り」による勝者数の多いチームを勝ちとする。
 - ④ ③で同等の場合は、「僅差」による勝者数の多いチームを勝ちとする。
 - ⑤ ④で同等の場合は、代表戦で勝敗を決する。
- (4) 代表戦における試合時間はその試合の時間に準ずる。得点差がなくかつ「指導」差が1以内の場合は旗判定で勝敗を決定する。(GSは行わない)。出場する選手は、「引き分け」であった対戦の中から1試合を抽選で決定する。

13 表彰

- (1) 各部とも、優勝・準優勝・3位（2チーム）には東洋水産株式会社及び佐賀県柔道協会から賞状及び賞品を授与する。
- (2) 入賞チームの中から最優秀選手を選考し各部1名にフレッドワダ杯を授与する。
- (3) 入賞チームの中から優秀選手を選考し、小学生・中学生男子の部5名、中学生女子の部3名に優秀選手賞を授与する。
- (4) 令和3年度のマルちゃん杯全日本少年柔道大会への派遣
 - 日時・場所 令和3年9月19日（日）東京武道館で開催
 - 主催 （公財）全日本柔道連盟
 - 特別協賛 東洋水産株式会社
 - 内容 小学生の部上位4チーム・中学生男子の部上位6チーム
中学生女子の部上位2チームを派遣する。
尚、全国大会出場選手は今大会プログラムのメンバーに限る。
※全国大会出場は1チームのみとする

14 ゼッケン

- (1) 登録選手は、柔道衣背部にチーム名（出場チーム）、苗字（姓）入りの布地は白色のゼッケンを次の基準により縫い付ける。ゼッケンをつけていない選手は原則として出場できない。
- (2) サイズは概ね横30～35cm・縦25～30cm（体格で合ったサイズで可）
- (3) 苗字（姓）は上側 2／3 所属名は下側 1／3（参加申込所属団体）
- (4) 書体は、太いゴシック体、明朝体（楷書）※毛筆体含む
男子は、黒色、女子は濃い赤色、又は朱色
- (5) 縫い付け場所は上衣の後ろ襟から5～10cmに位置する場所



15 参加申込及び申込期限

- (1) 参加申込 佐賀県柔道協会ホームページから申込様式をダウンロードし、作成した「参加申込書」を大会事務局に郵送する。
- (2) 申込期限 令和3年5月8日 土曜日 必着
※申込書が到着し、書類に不備がないことにより受付完了となる。
- (3) 申込書作成方法については、申込様式の「申し込み手順」をご参照下さい。
申込書を作成し、事務局へ郵送すると同時に、作成したエクセルデータ（所定のファイル名を付けること）をホームページ内下部バナーのお問い合わせフォームへ添付の上送付ください。

[小学生申込みはこちら](#)

[中学生女子申込みはこちら](#)

[中学生男子申込みはこちら](#)

申込書郵送先（問い合わせ先）

〒842-0033 佐賀県神埼郡吉野ヶ里町豆田 1361-1

ふるさわ接骨院内 古澤 均

マルちゃん杯九州少年柔道大会参加申込係

T E L 0952 (52) 4205 携帯 090 (3196) 7152 (古澤)

E-mail towal104f@ybb.ne.jp

(注) [トラブル防止のためFAXでの参加申し込みは受け付けない。](#)

- 16 抽 選 令和3年5月22日（土曜日）大会事務局において佐賀県柔道協会及び東洋水産株式会社関係者立会の下に行う。

- 17 参 加 料 大会参加料は、無料とする

18 審判・監督会議

令和3年6月13日（日）大会当日（小学生の部）7時50分～（中学生男子・女子の部）11時30分～（SAGAサンライズパーク総合体育館「剣道場」）参加チームの監督又はコーチ及び審判員は出席すること。事情により出席できない場合は、申し合わせ協議を了承したものとして取り扱う。（協議決定事項等の資料は大会当日にも準備する）

- 19 傷害保険 (1) 参加選手全員を主催者負担で傷害保険に加入する。なお責任者は大会出場にあたり、事前に選手の健康状態を確認しておくこと。
(2) 大会中における受傷等については、応急処置を施すが保険対象範囲以外の責任は負わない。万一、事故の発生に備え各チーム独自で傷害保険等に参加するなどして万全の対策をたてておくこと。

20 宿泊等の斡旋

宿泊・昼食希望のチームは、佐賀県柔道協会のホームページに添付している『第36回マルちゃん杯九州少年柔道大会 宿泊・弁当申し込みのご案内』をご確認いただき、「申込書」をダウンロードし、必要事項をご記入の上、「宿泊等取り扱い・問い合わせ先」に直接、FAX・メール若しくは、郵送にて申し込むこと。（FAX申込は、必ず担当者が、送信確認をとること。）

宿泊等については、後日、名鉄観光サービス（株）佐賀支店「第36回マルちゃん杯九

州少年柔道大会」デスク係から「予約回答・支払案内」関係書類を送付する予定。

◎宿泊等取り扱い・問い合わせ先

名鉄観光サービス㈱佐賀支店

〒840-0801 佐賀市駅前中央1丁目5-10

TEL(0952)22-9601 FAX(0952)22-9605

マルちゃん杯九州少年柔道大会 (担当 憶・田川)

E-mail shinkichi.aoki@mwt.co.jp

21 その他

- (1) 試合者の服装については国際柔道連盟試合審判規定によること。
- (2) 出場チームの大会会場への入場については、監督1名・コーチ1名・選手7名の計9名(中学女子は計6名)とする。
- (3) 監督の服装は審判員に準ずることとし、著しく反する服装は認めない。
- (4) 試合場における監督・コーチの振る舞いについて
 - ア 試合が止まっている間(「待て」から「始め」の間)のみ、選手に対して指示を与えることができる。試合続行中は、選手に対して指示を与えることが許されない。
 - イ 次の行為を禁止する。
 - ① 試合が続行している際に指示を出すこと。
 - ② 審判員の判定に対し、コメントや批判、或いは訂正を要求すること。
 - ③ 対戦相手、審判員、役員、一般客および自分自身の選手を侮辱する行為。
 - ④ 広告看板や器具に触ったり、殴ったり、蹴ったりすること。
 - ⑤ その他、柔道精神に反する行為。
 - ウ 原則として監督・コーチは審判員に準ずる服装とし、IDカードを着用のこと。
※上記に違反した場合は、1回目は審判員が合議の上、口頭による注意をする。改善されない場合は、審判員が大会委員長または審判長に報告の上、大会委員長または審判長の責任のもと対処する。
- (5) 開会式・閉会式等を含み、柔道精神に基づいた大会運営への協力を応援者も含め、各チームともお願いする。
- (6) 選手・保護者・応援者の昼食は別添申込書において申し込むこと。
- (7) 申込書に記載されている事項(氏名・体重)は、大会プログラムに掲載されると共に、大会における試合(人物風景など)表彰式時の写真等が、新聞・雑誌・ホームページ等に掲載される事については、予め了承されたものとして取り扱いをする。
- (8) コロナウイルス感染拡大防止について
 - ①別紙「新型コロナウイルス感染拡大防止ガイドライン」に協力すること。
 - ②登録選手以外の体育館への入館は認めない。
 - ③団体1チームにつき5名の観戦者(応援者)の入館を認める。入館の際に観戦者名簿を提出し、名簿記載者の総員にて入館する事とする。
 - ④選手、監督、大会役員、観戦者は2週間前(5月30日)から当日までの健康観察報告書を提出すること。健康観察報告書は大会当日提出。体調不良の症状がある場合は入館できない。

⑤敗退したチームから随時、退館することとする。

⑥何らかの不正が発覚した場合、大会運営を止めて当該チームの選手・観戦者全員の退館を検討する。

《 別紙 》

大会開催時のコロナウイルス感染防止ガイドライン

1) 入場者について

- ① 大会当日に、会場に入館する監督・コーチ・選手は名簿を大会受付に提出後検温・消毒を行って入場する。
(名簿には14日前からの検温及び健康チェック記入)
- ② 大会役員・審判・報道、取材関係者は所属先と氏名を記入し検温・消毒を行ったのちに入館する。
- ③ 参加するチームの観戦者（応援者）の入館者人数の制限を設ける。
- ④ 大会当日会場に入館する観戦者においても、選手の所属チーム毎に大会受付にて名簿を提出し検温・消毒を行ってから入館する。
- ⑤ 観戦は拍手での応援を基本とする。大声を出さないようにし、メガホンの使用等による応援や、まとまっての応援は控えるようお願いします。
- ⑥ 大会当日までに37.5℃以上の発熱が3～4日続いた日があった場合や、極度の咳や倦怠感などの症状があった者については、会場への入館は出来ないものとする。

2) マスク着用

- ① すべての入館者はマスクを着用する。マスクを着用しない者の入館は認めない。
- ② 選手は、競技中以外はアップの時でもマスクを着用する。
- ③ 大会役員・審判・補助員・取材者・保護者は常時マスクを着用すること。
- ④ 選手への報道陣の取材の際には写真撮影時に限って、マスクを外すことを認める。

3) 社会的距離の確保

- ① 選手は、競技中を除き、他の選手・指導者・審判・補助員等と社会的距離を確保するように努める。
- ② ミーティングなどは密集にならないように配慮し、短時間で済ませる。
- ③ 選手の更衣は極力自チームの指定席で行い、会場の更衣スペースの使用は禁止とする。(中学生女子については更衣室を用意します。)
- ④ 観客席の間隔については施設管理者の指示に従う。
- ⑤ 観戦者は基本、観客席の所定の位置で応援し、観客席以外の場所には立ち入らない。特に1階試合場へは入場を禁止する。
- ⑥ 会場外のフロア・休憩スペース・駐車場等での会話は極力慎む。

4) 消毒・衛生管理

- ① すべての入館者はこまめな手洗い・手指消毒・うがいなどを励行する。
- ② 主催者は会場入り口や試合会場に消毒液を設置する。また、適宜に館内換気を行う。
- ③ 試合場畳は2時間程度に1回消毒を行う（次亜塩素酸水）
- ④ 水分補給は各自で準備するようにして、コップを共用する回し飲みは行わない。
- ⑤ 使用した机・椅子・掲示板などは、大会終了後に消毒液を浸した布巾やペーパータオルなどで消毒を行う。
- ⑥ ゴミは各自ですべて持ち帰る事とし、撤収後に館内を確認し、残っていた場合には道場・クラブの監督に引き取りに戻ってもらい撤去をして頂く。

5) その他

大会前に各チーム(選手・指導者)から感染者または濃厚接触者が発生した場合は、そのチームは出場することが出来ない。

以上